

ごあいさつ

わが国は、戦後の公衆衛生水準の向上や医療提供体制の充実、医学の進歩、生活水準の向上などにより、世界最高水準の平均寿命を享受しています。このように高齢期を迎えてからの人生が長くなる中で、「第二の現役期」として生き甲斐を持って過ごすことは大切なことでもあります。老いても生き生きと暮らすには、食習慣・運動習慣・休養・喫煙・アルコール摂取などの生活習慣が、発病に影響を与える「がん」「脳卒中」「心臓病」「糖尿病」などの生活習慣病の予防が大切であり、それが「健康寿命」(認知症(痴呆)若しくは寝たきりにならない状態で生活できる期間)の延伸に大きく影響しています。

しかしながら残念なことに、超高齢者社会を迎え「認知症(痴呆性)高齢者」の人口は現在160万人と推定され、2015年には団塊の世代が高齢期に達し、認知症(痴呆性)高齢者の人口は250万人に及ぶと推計されております。

このような中、地域で認知症(痴呆性)高齢者を支えるキーパーソンであるかかりつけ医の役割りは大切なものであり、是非何でも相談できる身近なかかりつけ医をもっていただきたいと思っております。

このパンフレットは、高齢者痴呆介護研究・研修センター大府センター長 柴山 漢人先生のご協力もと、認知症(痴呆)について分かりやすく記述されております。できるだけ多くの方にご覧いただき、これからも充実した人生を楽しんでいただきたいと思っております。

名古屋市医師会 会長

加藤寿彦

- 2 認知症(痴呆)について
認知症(痴呆)は脳の障害によって起こる「病気」です。
- 3 認知症(痴呆)の早期発見
的確な治療のためにも、とにかく早めの診断・発見が大切です。
- 4 原因となる病気別認知症(痴呆)予防
生活習慣の見直し、脳の活性化がポイントです
- 5 認知症(痴呆)のケアについて | 01
病気に適合し、しかも患者さまに最適のケアであることが理想です。
- 6 認知症(痴呆)のケアについて | 02
懐かしさと温かさで包み込む、不安を受け入れ、共感するケア。
- 7 認知症(痴呆)のケアについて | 03
「してあげるケア」から、「引き出すケア」へ。
- 8 認知症(痴呆)のケアについて | 04
介護する側にも十分な配慮が必要です。
- 9 認知症(痴呆)の相談は
隠さず、恥ずかしがらず、気軽に積極的に相談を。